

## 2019年度(平成31年度) 市野与進こども園事業計画

本年度から、初めての1号認定園児を受け入れることになり、4/1新入園児は下記の人数です。

| 年齢   | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
|------|-----|-----|-----|----|
| 募集人数 | 1人  | 3人  | 3人  | 7人 |
| 申込園児 | 0人  | 2人  | 0人  | 2人 |

| 年齢   | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 合計  |
|------|-----|-----|-----|-----|
| 募集人数 | 13人 | 9人  | 1人  | 23人 |
| 申込園児 | 13人 | 9人  | 1人  | 23人 |

保育教諭は、退職者がなかったことから、5人募集した結果、学卒者2名の採用にとどまりました。給食部門の退職職員の補充等3名を含め、4月採用正職員は計6名です。

隣地購入予定の農地転用が6カ月遅れたことから、本年度に購入した造成・整備工事を行います。将来計画として、購入する土地を実際どのような形で利用するのか計画を練りながら進めていきたいと思ひます。

本年度のテーマ 「子どもの心育ちを大切にする園」「自分で考え行動のとれる子」

重点目標及び重点施策への取り組み

「子どもの心育ちを大切にする園」を最大の課題として主として下記事業を実施します。

### ① 保育教諭の教育・保育の質の向上

(ア) 自己評価の実施

(イ) 教育・保育の質の向上・・・

「園児が自ら考え行動する子」の教育・保育

研究保育、ビデオカンファレンス、レッスンスターディー等の実施による保育教諭の質向上

(ウ) 保育中の安全管理体制づくり

(エ) 家庭とともに考える食育環境 (楽しくマナーを身につけよう)

### ② 働き方改革に対応した職員の働きやすい職場づくり

効率よく仕事を進めることにより、全職員が休憩をとる。事務処理は時間を効率よく利用し残業をしない。年次休暇を取りやすく、子育てしやすい職場にする。

### ③ 子育て支援・地域貢献

(ア) ふれあい遊び

(イ) 

|                      |
|----------------------|
| 離乳食から始める<br>「食べる楽しさ」 |
|----------------------|

}

- 歯科医による口腔から始める離乳食
- 離乳食講座・・・離乳食の始まりから完了期まで一連の流れと母親の役
- 離乳食教室・・・手作りの離乳食、おやつ の作り方教室

(ウ) マタニティーカフェ・ベビーマッサージ教室・・・地域における公益的取り組み

子育て中の母親の「子どもの心育て」のために妊婦による相談と親子ふれあいのベビーマッサージ

(エ) 保育参加

(オ) 園の給食の試食会、

(カ) 園の様々な行事への参加

31年度 事業計画

| 法人の基本方針               | 概 要  | 内 容  |
|-----------------------|--|--|
| <p>1. 保育サービスの質の向上</p> | <p>① 新保育指針、認定こども園教育・保育要領、放課後児童クラブ運営指針(以下保育指針等)に沿った保育の実践</p> <p>② 国、市の方針、環境変化に応じた園の経営</p> | <p>保育・保育教諭の質の向上を目指し</p> <p>★ 子どもの発達過程を踏まえた環境を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ こども園教育・保育要領研修</li> <li>◇ 保育教諭主導の「させる保育」から子ども自ら「やってみよう保育」へ</li> <li>◇ 園内研修・・・環境を通して考える教育保育</li> <li>◇ 保育に生かせる自己評価。<br/>子どもの「今」を大切に「子どもの心育て」</li> <li>◇ 「食育」計画にそって実践</li> </ul> <p>今年度の目標</p> <p>「家庭を巻き込み楽しいマナーを身につける」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 保育中の安全対策づくり・・・危機管理のマニュアル</li> </ul> <p>事故防止からくる子どもの育ち分析・・・<br/>(事故報告・ヒヤリハット研修の中で保育の見直し)</p> <p>「教育」</p> <p>★ 情緒の安定と5感を大切にしながら「挑戦する気持ち」、「意欲」、「体験する楽しさ」を育てる。</p> <p>(見る→意欲(やってみよう)→真似る(おもしろい)→学ぶ)</p> <p>★ 3歳以上児の教育・保育テーマ 「意欲を持って何にでも挑戦する子を育てる」<br/>保育教諭は一人ひとりの関わりを大切にしながら、保育教諭の思いと子どもの思いを絡み合わせ、「明日につながる振り返り」を行う。</p> <p>「養護」</p> <p>★ 情緒の安定や大人との信頼関係を図りながら、日々心安らかに安心して生活を送る。</p> <p>園の目標にある根底</p> <p>★ 教育・保育 (生きる力の基礎づくり・・・)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 遊びを通して人としての育ちを大切にしながら、園での教育・保育の在方をしっかりと認識しながら、「<u>自分で考え行動のとれる子</u>」の基礎を育てる</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人との関わり</li> <li>・自分の思いを言葉にする</li> <li>・集団生活や遊びのルールを守る</li> <li>・相手を思う気持ちを育てる</li> <li>・基本的生活習慣の確立</li> </ul> <p>を育てる</p> <p>★人としての基本的マナーを身につける<br/>(あいさつ・履物を揃える・自分の持ち物の整理整頓など)</p> |

| 法人の基本方針     | 概 要   | 内 容  |
|-------------|---|--|
|             | <p>③ 保護者への積極的な子育て支援</p> <p>④ 保育環境の整備</p> <p>⑤ 環境を守る取り組み</p> <p>⑥ 行政に向けたタイムリーな情報発信</p> | <p>★ 親育ちを考える。(子どもが人として育つために)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 子育て支援を実施するとともに子どもの「心育て」の大切さを知らせる</li> <li>◇ 子育てに大切なこと・・・職員による親子触れあい遊びの提唱</li> <li>◇ 祝日保育の実施</li> </ul> <p>★ 保育環境の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 子どもの育ちと教育・保育のねらい・環境構成</li> <li>◇ 職員配置の充実・・・0歳児 3 対 1に1名加配<br/>1歳児 5 対 1</li> <li>◇ 土地購入により園庭・駐車場の整備計画</li> <li>◇ 保育環境の充実・・・緑地化、</li> </ul> <p>★ 社会状況・経営状況を1人ひとり把握し、職員全員ができることから始める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 節電対策・・・電力会社情報資料の有効活用と職員伝達</li> <li>◇ ゴミの省力化<br/>職員・3歳以上児に「自分のポケットにハンカチを」運動実施</li> <li>◇ 園児たちに資源の大切さを知らせる<br/>水の出し出っ放し・漏水等の確認</li> <li>◇ 家庭での空き缶回収</li> </ul> <p>★責任者は運営状況をHPや閲覧しやすいように提示する。</p> <p>★地域・利用者・就職希望者に向けた教育・保育内容が見える園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ ホームページを通して、子どもの笑顔、行動など様子がしっかりと伝わるように伝え方を工夫する。</li> <li>◇ 地域貢献度の PR 化</li> </ul> <p>★教育・保育のプロセスを保護者に伝える<br/>(園の考えや保育教諭の思い)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 教育・保育の様子をよりイメージしやすく伝える</li> <li>◇ エピソード記録に基づき、ボード・ホームページ・クラス便り・行事・教育・保育の取り組み発表・園内掲示利用して伝える</li> <li>◇ 正規・非常勤・パート職員も含めて教育・保育の記録(1日の振り返り)の取り方の研修</li> </ul> |
| 2. 職員の確保・育成 | ① 職員の働きやすい環境づくり、待遇改善  | <p>★ 4月に行う県保連・浜松民間園長会主催の合同就職説明会の有効利用を行う</p> <p>★ 法人全体、職員全体で、積極的な新規採用活動を実施する。</p> <p>★ 職員の給与改定による処遇改善を進める。</p> <p>★ 責任を明確した役割分担</p> <p>★ 正規職員・パート職員が自己発揮できる職場づくり</p> <p>★ 有給休暇を取りやすい人事配置を行う。</p> <p>★ 結婚・育児のしやすい職場環境の構築</p> <p>★ 全職員に休憩がとれるように人事配置をする</p>   |

| 法人の基本方針          | 概 要   | 内 容  |
|------------------|---|--|
|                  | <p>② 計画的な研修</p> <p>③ 採用関係等<br/>対外的にタイムリーな情報発信</p>               | <p>★「選ばれるこども園」をめざした人材育成をする。園内研修の充実</p> <p>★ 実行・実践を確実に行う自己評価分析</p> <p>★ 食育 を家庭とともに取り組む・楽しくマナーを身につける</p> <p>★ 保育環境を考える研修・・・年2回</p> <p>★ 正規職員・パート職員がともに同じ研修に参加<br/>(正規・パートとの区別なく全員が研修に参加ができるよう配慮)</p> <p>★ 処遇改善Ⅰ・Ⅱを生かしたキャリアパス実施の研修充実計画</p> <p>★ 職員間での情報を共有する。</p> <p>★<b>就職希望者に向けた教育・保育内容が見える園</b></p> <p>ホームページを通して、子どもの笑顔、行動など様子がしっかりと伝わるように伝え方保育をわかりやすく工夫する。</p> <p>採用者にわかりやすく求人情報提供をする。</p> <p>園見学を参加しやすくする</p>   |
| <p>3. 地域への貢献</p> | <p>① 地域貢献活動の充実</p> <p>② 地域に対するタイムリーに情報発信</p> <p>③ 環境を守る取り組み</p> | <p>★ 親子ひろばのプログラムの充実</p> <p>◇ 手作り離乳食とおやつと試食会</p> <p>◇ ベビーマッサージ・マタニティーカフェ・・・子育てに大切なこと。妊産婦と助産師及び育児相談</p> <p>◇ 子育て中の親と職員の交流会(マザーズスクエア)</p> <p>◇ 親子触れあい遊びクラブ 1歳～2歳</p> <p><b>ふれ愛遊びの充実化</b></p> <p>◇ 保育参加・・・子どもとの関わり方や遊びの様子を見て、家庭での子育ての参考にしてもらう。園の保育内容を見て、感じてもらう。</p> <p>◇ 地域ボランティアの活用とこども園 教育・保育の情報発信をする</p> <p>★<b>地域・利用者に向けた教育・保育内容が見える園</b></p> <p>ホームページを通して、子どもの笑顔、行動など様子がしっかりと伝わるように保育の伝え方を工夫する。</p> <p>★<b>教育・保育のプロセスを今後利用しようする人にわかりやすく伝える</b></p> <p>(園の考えや保育教諭の思い)</p> <p>◇ 教育・保育の様子をよりイメージしやすく伝える</p> <p>◇ エピソード記録に基づきホームページ等・教育・保育の取り組み発表・園内掲示利用して伝える</p> <p>(園の考えや保育教諭の思い)</p> <p>◇ 子育てボランティアの活用 ・親子広場での育児相談</p> <p>◇ 待機児童保護者及び将来保育園・こども園に預けたい保護者に情報提供。保護者の悩みの共有・支援</p> |

|           |                       |   |
|-----------|-----------------------|---|
| 4. 経営基盤強化 | ① 経営の把握と無駄の排除         | ★予算は現状を想定しながらバランスよく考え立案をし、健全なこども園運営を行う。<br>事前調査をしっかりと行い、計画的に予算編成をする<br>★責任者は職員に運営状況を丁寧に説明する |
|           | ② 国、市の方針、環境変化に応じた園の経営 | ★ 区の情報を確認しながら環境の変化に対応<br>★ 園長会・近隣園と情報交換及び情報共有   |

4/1現在のクラス編成 (3歳未満児は月齢による)

| クラス名      | こもも組                | もも組        | みかん組            | れもん組       | あか組       | あお組                | しろ組 | 合計  |
|-----------|---------------------|------------|-----------------|------------|-----------|--------------------|-----|-----|
| 園児歳<br>児別 | 0歳児－<br>13<br>1歳児－4 | 1歳児－<br>18 | 1歳児－6<br>2歳児－14 | 2歳児－<br>17 | 3歳児       | 4歳児                | 5歳児 |     |
| 組人数       | 17                  | 18         | 20              | 17         | 32<br>障害A | 34<br>1号認定2<br>障害A | 25  | 163 |
| 職員数       | 6                   | 4          | 4               | 3          | 3         | 4                  | 2   | 26  |

※ 特別障害児 4歳児に1名 3歳児に1名 2歳児1名

歳児別園児数

| 年齢 | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 計   |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 人数 | 13  | 28  | 31  | 32  | 34  | 25  | 163 |

新入園児……26人

職員数

| 園長 | 教頭 | 主幹保育<br>教諭 | 副主幹<br>教諭 | 保育<br>教諭 | 保育<br>補助 | 栄養<br>士 | 調理<br>員 | 事務員 | 用務員 | 育児休<br>業 | 合 計 |
|----|----|------------|-----------|----------|----------|---------|---------|-----|-----|----------|-----|
| 1  | 1  | 2          | —         | 22       | 3        | 3       | 2       | 1   | 1   | 1        | 37  |